

栃木県立鹿沼南高等学校 食料生産科

農産物の生産管理や6次産業化を学習し、関連産業や地域に根ざした人材育成を目指します

食料生産科では、私たちが生きていくために欠かせない「食」について学ぶことができます。

学習の柱は、農産物の栽培（作物・野菜・果樹）、家畜の飼育（牛）、食品の製造となっています。

また、地域に根ざした活動を積極的に展開し、鹿沼の特産品を利用した商品開発や「かぬま和牛」の飼育などに取り組み、農業や畜産、食品、生命科学分野への進学や関連産業に貢献できる人材の育成を目指しています。



作物部 ～ユネスコ無形文化遺産に登録された日本酒づくりの研究～

酒米の栽培から醸造、日本酒の名称やラベルデザイン、販売までを手がけ、地元の醸造会社や印刷会社、卸問屋、販売店と共同で商品開発しました。



野菜部 ～トマト・イチゴ栽培の効率化を目指して～

トマト・イチゴについて学習を深め、地域の農業経営を学ぶとともに新品種の栽培特性について研究しました。



果樹部 ～果樹の力で地域活性化を目指してPart 1～

ナシ・ブドウ・ブルーベリーなどの栽培を通して体験的に学び、効率的な栽培管理の検討を行うとともに、収穫物の加工実習にも挑戦しました。



畜産部 ～飼養管理向上を目指したJGAP畜産の普及～

肉用牛の飼養・衛生・生産管理など幅広く学習し、生育ステージごとの特性や管理方法を理解し、ストレスフリーの飼育管理を実践しました。



～食と農の理解を図り、地域の豊かな食文化を育む～



～栃木県肉牛共進会への参加 好まれる枝肉と食肉の流通を学ぶ～



～「ゆうだい21」栽培技術の確立に向けての取り組み～



作物・畜産コース

作物部門

KEYWORDS

環境保全／
栽培実習／
加工品／
高位安定生産／
持続的栽培技術／



農作物の安定生産と安全性・品質向上

作物・畜産コース

畜産部門

KEYWORDS

畜産／飼養管理／
交流／アニマルウェルフェア／
畜産GAP／ゲノミック評価スニップ法／



畜産GAPに基づいた新たな飼養管理

野菜・果樹コース

野菜部門

KEYWORDS

野菜／
栽培実習／
交流／
安定生産／
施設栽培／



安全安心な農産物の栽培と地域交流

野菜・果樹コース

果樹部門

KEYWORDS

果樹／
栽培実習／
加工品／
安定生産／
根圏制御栽培／



管理技術の習得と規格外果樹の加工



未来へのコンパス

栃木県農業大学校
進学生徒

将来、「独自のブランド牛」を生産し地域を活性化させたい。そして、我が家の肉牛繁殖規模を拡大し、雌牛の肥育に挑戦したいと考えています。

この夢を叶えるため県農大では、牛の知識や技術を習得するとともに、家畜人工受精師や大型特殊免許などを取得したいと考えています。

栃木県立鹿沼南高等学校 環境緑地科

緑地環境・森林環境の保全や利用を学習し、関連産業や地域に根ざした人材育成を目指します

地域の自然環境を保全するための方法や緑地・森林などの環境問題等について学習します。

具体的な学習内容として、私たちの生活をより快適にするために、草花や造園、林業関係の学習を通して、園芸装飾やガーデニング、樹木の伐採・管理方法やキノコ栽培方法など、幅広く知識・技術を身につけます。

また、地域の問題や課題解決に向け、環境学習や地域交流、ボランティア活動に取り組むとともに、伐木特別教育や造園技能士3級など資格取得を目指し、地域に根ざした人材の育成を目指しています。



鹿沼南高校

サツキ栽培 ～海外輸出にむけて～

鹿沼市は、全国にその名を知られたサツキツツジの日本有数の生産地です。

現在、世界的な盆栽ブームも相まって、海外からの熱いまなざしが注がれ、サツキの輸出が増加しています。一方で、盆栽用苗木の生産農家は減少し、将来的には苗木の供給不足が懸念されています。

このような状況を踏まえ、日本の高校として初めてサツキの生産から輸出に挑戦し、本校はサツキ盆栽の輸出許可を取得しました。

また、新たな販路開拓として、地域と連携し、アメリカ輸出に向けた取り組みを行っています。



外部機関との連携によるスマート林業の取組

本校には、県内唯一の林業コースがあります。

森林科学や林産物利用など林業関係の科目の学習を通して、森林・山林の管理や木材利用、キノコの栽培方法など幅広く学んでいます。

将来性が高い若者の林業就業促進を図るため、各関係機関と連携し、林業従事者として必要な知識と技術を体験的に学習しています。

